

# ウィズ通信

## 性別や世代をこえてつながろう



絵：きむらなおこ

少子高齢化により1人の高齢者を支える現役世代(20～64歳)は平成22年には2.6人、平成32年には2人を下回る見込みです。初婚年齢や出産年齢があがり、働きながら育児と介護を同時に担う「ダブルケア」が、社会の問題として浮びあがっています。また、介護や看護を理由とした離職・転職者数は、平成23年10月～平成24年9月の1年間に10万人を超えており、その内女性が約8割を占めています。従来、子育てや介護は女性が担うものとされてきましたが、働く女性が増える中、ケア役割への負担はますます大きくなり、性別に関わらず互いに支え合うことが必要です。

社会のさまざまな問題は、誰かが声に出して「助けて！」と言うことで、みんなの問題として気づき、考えるきっかけとなります。育児や介護を両立しながら働き続けるための法律や職場環境の整備も必要です。併せて「個人の問題を社会の問題」として捉え、地域に住む同じ生活者同士が、性別や世代を超えて「自分事として」解決方法を模索することも大切です。老若男女、いろいろな人たちが集い、さまざまな経験や思いを持ち寄り、みんなで学び、考えることをウィズせつつは応援しています。

## 男女共同参画をテーマにした市民活動団体の企画を応援します！

### 男女共同参画市民企画協働事業 平成 28 年度チャレンジ企画実施報告

ウィズセつでは、男女共同参画の視点で考えた企画や女性のエンパワメントに役立つ講座を、毎年4月に公募しています。この事業は1996年、女性センター開設2年目に共催事業として始まり、2011年にチャレンジ企画として衣替えをして、毎年さまざまな市民団体と協働で実施しています。今年度はプレゼンテーションを経て3団体の企画が採択されました。ウィズセつと何度も打ち合わせを重ねながら、講座の広報から運営、ふり返りまでを団体のメンバーが主体となって行いました。

ふだん何気なく考えていることから企画のアイデアは生まれます。毎日の暮らしの中で感じるいろいろな思いを“わたしの目線”で切り取って、企画にしてみませんか。チャレンジ企画では、講師謝礼や施設使用料、お子さんの一時預かりの経費補助等があります。今年度実施した3団体の報告を紹介します。次はぜひあなたの思いを仲間と一緒にチャレンジ企画で実現してください。

#### 利用者参画事業を形に！

新しい21世紀を目の前にして、男女共同参画社会の創造に向けた取り組みも具体的に進められ、男女雇用機会均等法をはじめ、懸案の男女共同参画社会基本法も制定されました。こうした中で女性センターは、女性センターがなぜ必要なのかを利用者の皆さんとともに確認し合って、女性センター事業を具体的に創っていくための共催・後援事業を新しく実施することにしました。利用者の皆さんのやりたいことをいろいろな面で女性センターがお手伝いして、ともに女性センターを創りあげようではありませんか！

摂津市立女性センター初代館長 井口容子（1996年）

※後援事業は、男女共同参画推進団体の自主的な活動を応援するジャンプ企画として実施しています

## チャレンジ企画1 心が喜ぶ☆カードづくり〜筆文字とパステルのワークショップ〜

### 企画：自由を楽しむパステル

#### 自由を楽しむパステルってどんなグループですか？

毎月1回、2チームに分かれ、午前は年齢を問わずに集まり、午後は小さな子どもと一緒に母親たちが集まって、指でくるくるパステルで絵を描いています。自由に絵を描く「うれしい、楽しい」を分かちあうことや、「みんなちがって、みんないい」とお互いを認めることを大切に活動しているグループです。

#### 講座を通して伝えたかったことはなんですか？

「苦手！」と思う人が多い文字と絵への固定観念をはずして「できるかな？」から「できた！」という気持ちの変化を体験してもらいます。その体験を通して、自分の中にある力を発見し、自分を認め、自分を大切にすることの大切さに気づきます。また、お互いの作品を見せ合うことで、それぞれの個性に気づき、お互いの違いを体感してほしいと思いました。

#### チャレンジ企画を終えた感想を聞かせてください

いろいろな人に心が軽くなって元気になってもらいたいという思いで企画しました。講座前は「できるかな？」という不安顔の参加者がほとんどでしたが、講座終了時には一様に「楽しかった」という感想でした。和やかな雰囲気の中で楽しみながら学び、自分が描いたものを愛おしそうに持ち帰る参加者の姿を見て、気持ちに変化があったように感じました。

	内容	講師
10/18	ほめことばを筆文字で書いてみよう	松丸みち子 (言葉の花束プレゼンター)
10/25	指でくるくるパステルカードづくり	高雄良子(ゆびまるこ主宰)



## チャレンジ企画2 反抗期の子どもを聴く・認める 企画：ほめたいね♡

#### ほめたいね♡ってどんなグループですか？

小学生から20歳までの子どもを持つ女性の集まりです。子育ての悩みを抱え込まず共有することは、自分のためだけでなく同じ立場の母親や子どもたちのためになると考えて集っているグループです。

#### チャレンジ企画応募のきっかけはなんですか？

思春期の子どもを持つ親として、リアルに今現在、自分たちの直面している悩みであり問題なので。

#### 講座を通して伝えたかったことはなんですか？

「思春期の反抗」というところに、焦点を当てたいと思いました。学校、勉強、友達、さまざまな人間関係、昔はなかったSNSなどの複雑な問題に、親としてどのように子どもと向き合うのか。“子どもの心聴く”ことのひとつの手段として、「傾聴」という手法をみんなで学びたいとも思いました。



10月29日実施。講師の金香百合さん（HEAL ホリスティック教育研究所）とほめたいね♡メンバー

#### 講座はどうでしたか？

講師の金さんの言葉で心に残っているものは、「子どもを支援する」「子どもにとって、母親は特別な存在」「子どもがいきいきと幸せに生きるためにも、親が笑顔でいること。そのためには、悩みや愚痴を言える相手（ママ友）や安心して話せる場が必要」。受講生からは「具体的でわかりやすく、すごく元氣ななれました」「全ての言葉が、心に響きました」「自分の行動を見直そうと思いました」等、前向きな感想がよせられました。

#### チャレンジ企画を終えた感想を聞かせてください

金さんの言葉にパワーと熱意があったので、前向きな気持ちを持てる講座になってよかったと感じました。『ほめたいね♡』の活動が講座を提供することにとどまらず、子育て世代の方々の気持ちを楽にできるような活動につなげていければと考え、講座終了後に2回、「親子のコミュニケーション」をテーマにしたおしゃべり会を開催しました。



## チャレンジ企画3 ママとベビー♡抱っこでダンス

企画：わらべびキッズ♡ママ倶楽部



### わらべびキッズ♡ママ倶楽部ってどんなグループですか？

わらべうたベビーマッサージや産後ダンス等の活動を通して、地域での情報交換や友だちづくりを応援するグループです。



### 講座を通して伝えたかったことはなんですか？

赤ちゃんと母親の心身のケアに役立つダンスを生活の中に取り入れて、楽しんで子育てをしてほしいと考えています。3月のウィズせつつフェスタでは、受講の親子と一緒に楽しく産後ダンスを披露したいと、講座終了後も集まって練習する予定です。



### チャレンジ企画応募のきっかけは何ですか？

子育て中の母親が孤立せず、地域の仲間とつながり、楽しく前向きに子育てするきっかけになればと企画しました。わらべうたの音色に合わせて、赤ちゃんとスキンシップしながらダンスをすることで、母親の産後の骨盤ケアや親子の絆が深まる等、いろいろな効果があることも知ってほしいと思いました。

ウィズせつつフェスタ  
3月4日(土)

国連が定める3月8日の「国際女性の日」を記念して、毎年3月にウィズせつつフェスタを実施しています。男女共同参画への理解を深めるために、推進団体のみなさんと「出会う、気づく、つながる、行動する」をテーマに、3月4日に開催します。お楽しみに！

悠以トーク&ライブ  
自分らしく生きる

時間：午後2時15分～3時15分  
場所：コンベンションホール

悠以さんは、平成元年に男性として誕生。しかし心は女性でした。幼いころから男性として生きることによって心と体の違和感に悩み、唯一音楽を通して自分を保つことができました。悠以さんの体験やその生き方をお聞きし、多様な人が多様な性を自分らしく生きることができる社会について考えましょう。そして、現在、プロのシンガーソングライターとして活躍する悠以さんの、女性と男性の声を使い分けて歌い上げる圧巻のステージをお楽しみください。



摂津市立男女共同参画センター  
ウィズせつつは…

性別に関わらず、家庭、学校、職場、地域などで、一人ひとりが個人として尊重され、対等な関係を築き、共に責任を担う男女共同参画社会づくりを推進するための拠点施設です。

性別による固定的な意識を見直し、女性の自立と社会参画を推進します。また、市民の活動やネットワークづくりを応援します。



「ウィズ通信」は、年に3回、発行します。

編集・発行

摂津市立男女共同参画センター ウィズせつつ

〒566-0021 摂津市南千里丘5-35 摂津市立コミュニティプラザ1階

TEL：06-4860-7112 FAX：06-4860-7113

URL：http://with-settsu.jp e-mail：danjyo@with-settsu.jp

●開館時間：月・木・金・土・日曜日 午前9時30分～午後5時  
火曜日のみ 午前9時30分～午後9時

●休館日：水曜日・祝日・年末年始

2017年1月発行